

清水港湾事務所は、1921年(大正10年)に、内務省横浜土木出張所清水港修築事務所として開設され、本年(2021年(令和3年))、100周年を迎えました。

これまでお支えいただいた地域の皆様や港湾関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

この節目にあたり、これまで当事務所が手がけてきた主要プロジェクトや、現在実施中のプロジェクトの概要を冊子にまとめました。

各プロジェクトの時代背景や、施工技術も含め、清水港湾事務所100年のあゆみを、ぜひご覧いただければ幸いです。

清水港湾事務所では、次の100年に向け、引き続き皆様と手を携えて、静岡の港づくりを着実に進めて参ります。

清水港湾事務所 職員一同

清水港湾事務所 100年のあゆみ 目次

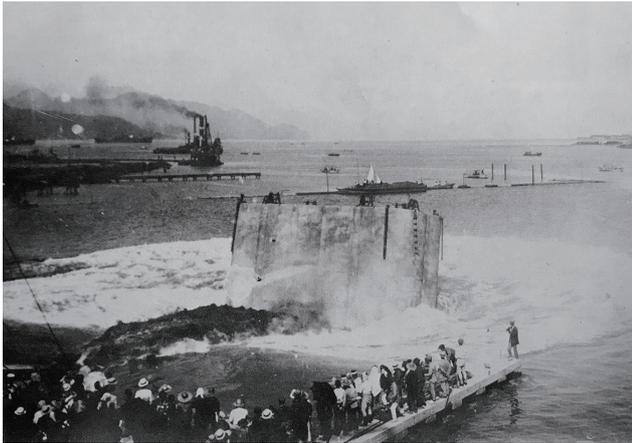
100年のあゆみ (年表)	3
100年間の主要プロジェクト	8
清 水 港	
第二期修築工事	8
第二次世界大戦後の復旧・復興工事	10
石炭埠頭・村松埠頭の整備	11
興津第1埠頭の整備	12
興津第2埠頭の整備	13
外港防波堤・三保防波堤の整備	14
三保ケーソン製作場の整備	15
袖師第1埠頭の整備	16
新興津コンテナターミナルの整備	17
防波堤の改良(地震・津波対策)	18
富士見地区 岸壁の改良(老朽化対策)	19
日の出地区 岸壁の改良(老朽化対策・大型クルーズ船対応)	20
新興津岸壁の延伸	21
御 前 崎 港	
防波堤の整備	22
西埠頭 多目的ターミナルの整備	23
防波堤の改良(地震・津波対策)	24
田子の浦港	
中央地区 岸壁の改良(大型船対応・耐震化)	25
中央航路の保全	26
下 田 港	
防波堤の整備	27
これからの港づくり・地域づくり	28



第二期修築工事中の清水港
(1924年)



岸壁ケーソンの製作工事
(1924年)



岸壁ケーソンの進水
(1924年)



清水港丙岸壁(現・日の出1~2号岸壁)に第1船が入港(初の接岸荷役)
(1929年)



清水港 新興津コンテナターミナル
(2021年5月)



田子の浦港 中央地区
(2021年3月)



御前崎港 西埠頭10号岸壁
(2021年3月)



下田港 防波堤
(2020年10月)